

河原「鳥取市新地域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
①協働による防犯対策の推進	1. 警察・地域住民(団体)と協働で行う、防犯パトロールの継続と充実 2. 地域住民(団体・学校)と連携したあいさつ運動の啓発・推進「安全で安心なまちづくり」	小中学生の安全・安心な暮らしの確保 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、小中学生の安全な暮らしを構築	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状についての情報を共有した。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施した。(月、水、金曜日)	○事業を継続して実施する。 ○各地区まちづくり協議会にパトロール実施を呼びかける。	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで小中学生の現状等について情報交換する。 ○民生児童委員と支所職員による下校時における青色防犯パトロールを実施する。(月、水、金曜日) ○安心安全啓発看板を設置する。	105				河原町総合支所
		小中高校生の健全育成及び地域の安全確保(町内犯罪0を目指す) 【防犯・交通安全対策の充実】	○効果的実施の検討	○効果的に継続実施	○継続実施し、安全で安心に暮らせるまち「河原町」の構築	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報を共有した。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施した。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施した。	○事業を継続して実施する。 ○専門機関との連携について検討する。	○青少年育成協議会及び園長・校長会などで少年犯罪や発生状況、傾向についての情報交換する。 ○PTA連絡協議会主催の家庭教育啓発講演会を実施する。 ○夏休み中の夜間防犯パトロールを実施する。					河原町総合支所
		①あいさつ運動の啓発を進めて道徳の高揚を図る ②地域に暮らす全ての世代がお互いに声を掛け合い、助け合う「風土づくり」と「防犯の意識づくり」を行い、発展させることにより、地域と行政の協働による安全で安心なまちづくりを図る 【防犯・交通安全対策の充実】	○応募数増に向けた取り組み検討(周知徹底ほか)	○応募者増に向けた取り組み実施	○応募者の増 ○「風土づくり」と「防犯意識の向上」を地域と行政による協働の取り組みで図る	○新たに河原幼稚園及び各小中学校の保護者へ呼びかけた結果、応募者数が増えた。 ○優秀な作品6点を看板にして、各園、小、中学校、支所に掲示するとともに最優秀を受賞した生徒・児童に記念品と表彰状を送り機運を高めた。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行った。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を市民と行政が協働で実施した。	○事業を継続して実施する。	○あいさつ標語の募集し、看板を作製、設置する。 ○智頭警察署管内防犯協議会での情報共有、連携等について意見交換を行う。 ○交通安全の期間中に併せ、あいさつ運動を各学校、PTAなど市民と行政が協働で実施する。	65				河原町総合支所



河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
③企業誘致の推進と移住定住の促進(若者の流入・定住促進)	工業団地の確実な整備と企業誘致また空き家活用によるUJターン者の増のほか宅地造成分譲による若者の定住促進	河原インター山手工業団地への企業誘致及び既設工業団地の拡張整備による企業誘致 【工業の振興】	○河原インター山手工業団地の整備完了と企業への分譲 ○既存工業団地拡張整備の着手と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地の企業への分譲促進 ○既存工業団地の拡張整備推進と完成地からの分譲開始	○河原インター山手工業団地分譲完了 ○既存工業団地拡張整備分譲完了	○河原インター山手工業団地 【整備状況】 ・平成30年3月完成予定。 【分譲状況】 ・分譲面積約6.1haの内、約1.9ha(約32%)は分譲済、約1.2haは分譲予約済。 ○布袋工業団地 【整備状況】 ・1工区は平成27年度完成。2工区は平成28年9月完成。3工区は着手済、完成は未定。 【分譲状況】 ・分譲面積約14haの内約4haを分譲済	○それぞれの工業団地への分譲を進める。	○河原インター山手工業団地及び布袋工業団地の企業への分譲を促進する。					企業立地・支援課 河原町総合支所
					○河原町神馬の空き家を借り上げ、(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくに移住定住空き家運営業務を委託しお試し住宅を開設、西郷地区へのUJターン者の受け入れ体制を強化した。	○事業を継続して実施する。	○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが行う、神馬の移住定住空き家運営業務(西郷地区へのUJターン者の受け入れ)を支援する。	860				地域振興局・地域振興課 河原町総合支所	
		河原町へのUJターン者の増(町外からの移住者) 【移住・定住の促進】 【ふるさと・いなか回帰の促進】	○河原町へのUJターン者の増に向けた検討 ○空き家情報等収集	○河原町へのUJターン者の増への取り組み強化	○河原町へのUJターン者増	○H29.4月いなか西郷工芸の郷の郷開きを行い、福岡県から河原町湯谷へ新進気鋭の若手陶芸家が夫婦で移住され、日夜研鑽に励んでいる。 H28年度:陶芸窯、作業場への整備に対する支援を行った。 H29年度:研修に要する経費の支援を行った。 ○いなか西郷工芸の郷を内外にアピールし、機運を盛り上げるため西郷地区工芸祭りが実施された。 ○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくが、西郷地区に若手工芸家等を誘致し、活動の拠点とするため、北村にシェアハウス、本鹿にゲストハウスを設置への支援を行った。	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保に向けて支援する。	○有望な若手工芸作家の誘致及び移住後の研修、生活基盤確保を支援する。 ○(一社)西郷工芸の郷あまんじゃくに委託している北村シェアハウス、本鹿のゲストハウスの運営等を支援する。	1,200				政策企画課 地域振興局・地域振興課 河原町総合支所
		民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進 【工業の振興】	○民間事業者への呼びかけと支援策の検討及び法手続き等の開始	○宅地造成の開始と完成地からの分譲開始	○宅地造成完了と分譲完了	○民間事業者への呼びかけと支援策を検討した。(検討概要) ○申請事務手続きの簡素化、受付ワンストップサービスの新設等	○民間企業等参入による新たな宅地造成と分譲による定住促進を進めるための方策を検討する。	○民間による住宅団地、分譲地の整備を支援する。					河原町総合支所

河原「鳥取市新地域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性	
			～29年度	～31年度	～35年度									
④子育て・教育環境の充実	1. 学校施設の耐震化、生涯学習施設(中央公民館、地区公民館)の耐震化	各種教育・生涯学習・体育施設の耐震改修と整備及び中央公民館・体育施設等の効率的且つ効果的な管理体制を図る 【地域防災力の充実】	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修 ○八上地区公民館耐震改修、西郷地区公民館整備 ○町内体育施設の計画的整備 ○中央公民館のあり方検討	○体育施設の計画的整備及び管理方法の見直しと一部実施 ○中央公民館(基幹公民館)河原町コミュニティセンターのあり方について決定	○中央公民館河原町コミュニティセンター・体育施設等の計画的整備の完了と効率的且つ効果的な管理体制への移行	○西郷小学校、河原第一小学校耐震改修整備が完了した。 ○八上地区公民館耐震改修工事が完了した。 ○西郷地区公民館新築整備が完了した。 ○平成30年度からの総合体育館、勤労者体育館の指定管理移行に向けた諸手続きを実施した。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を進めた。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)の工事に着手した。(平成30年5月頃完成予定)	○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を進める。	○河原町総合体育館及び勤労者体育館を指定管理とする。 ○河原町プールの指定管理移行に向けた検討を行う。 ○河原町コミュニティセンターの管理体制及び設備更新と耐震改修整備に向けての協議を行う。 ○(仮称)山手総合運動場(野球場・グラウンドゴルフ場)を整備する。					生涯学習・スポーツ課 河原町総合支所	
	2. 体育施設の整備(プール、体育館、運動場等)		「河原町未来を語る会」への参加者数の増と小中学生による実証 【教育の充実】 【教育の充実・郷土愛の醸成】	○園児・保護者、PTAを含めた「河原町未来を語る会」の実施と小中学生の提言等を各まちづくり協議会と共有し、各地域づくりの推進に向け検討する	○小中学生の提言に対する。地域住民・行政・教育等での実施検討と実証(河原町地域の宝マップ作成等)	○小中学生による地域の宝を活用した地域振興の実施(実証)	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」が毎年実施され、各小中学校の代表が具体的な提案・プレゼン、地域の方とのディスカッションを行った。	○小中学生の提言を各地域まちづくり協議会と共有し、実践に向けて検討し実証する。	○児童生徒・保護者、PTA、市民を含めた「河原町未来を語る会」を実施する。 ○小中学生の提言に対する地域住民・行政・教育等での実施検討と実証する。					河原町総合支所
	3. 地域住民と小・中学校生徒及びPTAと連携した「河原町未来を語る会」の継続 4. 河原町文化祭などの文化活動の推進		河原町文化祭への出展作品数・来場者数の増 【生涯学習の推進】	○出展作品数・入場者数増への取り組み検討・実施	○出展作品数・入場者数増に向けた取り組み強化	○出展作品数・入場者数の増	○前年度の実績、アンケート、反省会を踏まえ出展作品数・入場者数の増を実行委員会で検討した結果、年々、出展作品数、来場者が微増した。 ○平成29年度は第40回を記念して講演会を実施した。	○文化祭を継続して実施する。 ○出展作品数・入場者数増に向けた新たな試みを検討する。	○文化祭を継続実施するとともに、出展作品数、来場者数の増に向けて検討する	491				河原町総合支所

河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課	
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性
			～29年度	～31年度	～35年度								
⑤観光振興に伴う交流人口の増	1. 河原城・湯谷荘・三滝荘への来訪者の増を目指す。 2. ジオパークエリアにある霊石山また八上姫を祀る売沼神社の知名度アップとこれらを活用した地域活性化の促進 3. 年間約150万人が訪れる「道の駅 清流茶屋 かわはら」を活用し、河原町の情報発信と新たな特産品等の創出販売促進	①河原城への入館者増 ②湯谷荘の利用者増 ③三滝林間施設への入込客増  【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○各施設の利用実態調査実施・分析 ○魅力創出とPRの推進(SNS等多様な情報発信による知名度アップ) ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築	○旅行者への売り込み ○各施設の年間利用者数の増に向けた情報発信強化	○各施設の年間利用者数の増	○各施設の利用実態調査実施・分析中 ○三滝林間施設はH31年度から新たな管理者を募集することとしており、地元を始め関係機関と検討を開始した。 ○河原町独自の観光パンフレット(3施設周遊案内特集版)を作成	○各施設の利用実態調査実施し分析する。 ○道の駅かわはらネットワーク協議会の再構築を図る。	○各施設の利用実態調査・分析を行い、入館者増に向けた効率的な情報発信の方法等について検討する。 ○各施設が行う事業等を支援する。 ○三滝林間施設のH31年度からの管理者募集について地元を始め関係機関と検討する。	1,420				林務水産課 河原町総合支所
		①グリーンツーリズムの推進(民泊受入者の増) ②むらとまち交流の増  【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○新たな民泊及びむらとまち交流等の掘り起しと既存ツーリズムの再生	○民泊開設・交流の増 ○新たな体験メニューの創出	○団体受入可能なグリーンツーリズム(民泊等)組織の確立 ○多様な体験メニュー(ツーリズム)の運用 ○むらとまち交流の増	○国英地区と岩倉地区のむらとまち交流事業が継続して実施された。 ○八上地区と丹波篠山市、姫路市との交流が行われた。 ○西郷地区と修立地区との交流が行われた。また、新たな民泊事業に向けて検討を開始された。	○むらとまち交流事業を継続する。 ○西郷むらづくり協議会やどかり部による民泊事業の取り組みを支援する。	○各地区まちづくり協議会のむらとまち交流事業を支援する。 ○西郷地区むらづくり協議会やどかり部による民泊事業を支援する。					地域振興局地域振興課 河原町総合支所
		①河原町の各種観光情報発信の充実強化(道の駅活用) ②新たな特産品の創出と販売  【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○地域おこし協力隊設置による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出 ○道の駅を活用した新たな情報発信検討	○多様なSNSを活用した連携情報発信の構築 ○新たな特産品の販売	○道の駅を活用した「河原町観光情報発信」の充実 ○新たな特産品等の販売増	○地域おこし協力隊(エコツーリズム担当)による地域の宝の掘り起しと活用、また新たな特産品の創出を行った。	○かわはら道の駅を活用した河原町の各種観光情報の発信を充実強化する。	○かわはら道の駅活用した河原町の各種観光情報発信を充実強化する。					河原町総合支所
		あゆ祭りの情報発信強化等により因幡の夏イベントとして定着(2万人以上の来場者維持)  【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○あゆ祭りの情報発信強化(知名度アップ等)に向けての検討	○あゆ祭り情報の多様な発信	○ととりの因幡の夏イベントとして定着	○あゆ祭り実行委員会を中心として開催しているあゆ祭りは、8月の第1土曜日開催の夏の風物詩として定着してきた。また、会場のレイアウトを変更し、来場者がより一層祭を楽しめるようにしたことなどにより来場者が過去最高の25,000人となった。	○平成30年度は第40回の記念大会であり、例年以上のより多彩で充実した催しを実施する。 ○ポスターチラシに留まらない多様な情報発信を検討する。	○第40回の記念大会としてのあゆ祭りを例年以上のより多彩で充実したものとする。	4,926				河原町総合支所
		ジオパークエリア霊石山の観光資源の再発掘、整備、活用をして魅力を向上し、来訪者の増を目指す  【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○国英地区と協同して霊石山(関係含む)のデータ収集と利活用の検討 ○山頂へのアクセス道整備	○埋もれている地域資源の再整備と利活用を図る ○ジオガイドの養成 ○ウォーキングマップ作成	○観光資源等の整備完了 ○霊石山への来訪者増	○「国英地域の宝を発見し活かす」をテーマとしてとっとりふるさと元氣塾(約30名が入塾)を国英地区公民館で開催するなど、霊石山の魅力や活用の仕方などを国英地区と協働で検討した。 ○霊石山山頂に山陰海岸ジオサイト案内看板を設置した。 ○山頂へのアクセス道については応急的な整備を実施した。 ○国英、河原、八上地区のまちづくり協議会により伊勢ヶ鳴の整備を行った。 ○かわはら道の駅や河原城の主催でトレッキングなど霊石山を活用した事業を行った。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信などを実行できるようなプランをつくる。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備を継続する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。 ○ジオガイドを養成する。 ○ウォーキングマップを作成する。	○国英地区との連携により霊石山の活用や魅力の発信について検討する。 ○各地区まちづくり協議会による霊石山の整備の継続して実施する。 ○山頂へのアクセス道を整備する。 ○ジオガイドを養成する。 ○ウォーキングマップを作成する。					林務水産課 河原町総合支所

河原「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	推進期間			短期(～29年度)における総括		30年度				担当課		
			短期	中期	長期	成果(何をどれだけ)	次年度以降への課題・方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度		事業の 方向性	
			～29年度	～31年度	～35年度									
		売沼神社等への来訪者の増 【デジタルととりの展開】【滞在型観光の推進】	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析また各関係者と利活用の検討	○観光ガイドの養成	○観光ガイドの創出 ○来訪者の増	○売沼神社・八上姫公園のデータ集積と分析並びに利活用について、鳥取市南商工会との連携を検討し河原地域をはじめ鳥取南部地域の食材や観光施設を活かした観光商品化を検討するための様々なモニターツアーを鳥取南商工会が中心となって行った。	○鳥取南商工会を中心としたモニターツアーだけに留まらず継続して来訪者が訪れるような仕掛けづくり、PRを検討する。	○売沼神社・八上姫公園の魅力を発信と資源を活用した鳥取南商工会を中心と取組みを支援する。 ○観光ガイドを養成する。					河原町総合支所	